



雪が一番多く積もるこの季節は、多くの生き物が眠^{ねむ}っているので、ねいの里はもっとも静かになります。そんな季節でも、そり滑りや雪だるま作り、かんじきハイキングなど、楽しいことがいっぱい。スノーシューやかんじきを履^はいて園内を歩くと、春を待つ樹木の冬芽^{ふゆめ}、雪の上

今しか出合えないもの

残るノウサギやタヌキの足跡^{あしあと}など、この時期でなければ出合えないものがたくさんあります。木が葉を落としているので、バードウォッチングにも最適^{さいてき}です。

葉^はが茂^{しげ}っている時期はなかなか姿が見られないキツツキの仲間、餌台^{えさだい}で餌をついばんでいるスズメやヒヨ

ドリなどもよく観察^{かんさつ}できます。ねいの里

では、かんじきを貸し出しています。履き方は職員^{しやくいん}が教えますので、ぜひ冬の森の魅力^{あつみ}を体験してください。(野澤和子)

①そり滑りを楽しむ子どもたち

②スノーシューを履いて自然観察

(いずれもねいの里)